

留学報告書 II (2023 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢中等部 2 年
留学先校名	Fay School
留学期間	2023 年 9 月から 2024 年 6 月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

今回の留学生活は、私の人生にとってとても貴重な一年間になったと感じています。私にとって二週間以上の家族抜きでの海外滞在は初めてでした。最初に寮の目の前で大きな荷物を複数個抱えて立った時は、大きな不安を感じていました。しかし同時に、小学校低学年の頃から海外で勉強することに強い憧れがあった私は、大きな期待を感じていました。そして、その期待通り Fay School での 1 年間は私に英語力の向上だけでなく、人として大きく成長する機会となりました。

Fay School の学校環境は、まるでこの広い世界を小さく凝縮したような Community です。教室に座って右を見ればアメリカ人の生徒、左を見ればイギリス人の生徒、後ろを見ればスペイン人の生徒、そして前を見れば中国人やイタリア人の先生が授業をしているような環境です。私は、この多様性に富んだ教室で多角的な視点から物事を考えるということについて学ぶことができました。

Fay School は生徒の多様性だけではなく、設備や校舎も多様でとても美しい学校です。秋は広大なアメフト場で仲間と一緒にアメリカンフットボールを、冬は近くのスキー場でスキーを、時には Student Lounge で仲間と勉強を、そして春にはテニスコートでテニスをし、卒業式では校庭で仲間と肩を組みながら笑顔で卒業証書を受け取りました。さらに、校舎内には私がデザイン思考を学んだ Creator Lab もあります。私は、この豊かな学習環境で多様な生徒と勉強だけでなく、スポーツにも切磋琢磨しました。

Fay School では、季節ごとに自分の好きなスポーツに挑戦することができます。それは私にとって魅力的な点であり、新たなスポーツに挑戦することもできました。私は、秋学期に初めてアメリカンフットボールに挑戦しました。初めは、タックルすることや、されることに大きな抵抗感がありましたが、日々仲間と練習し汗を流す中でそんな不安は消え、新たな試合を待ち望むようになりました。私は普段プレーしないスポーツをする中で、人種や言語の壁を越えて一つの『勝利』という目標に向かっていく貴重な体験をすることができました。

私はこれらの多様性社会、充実した設備や校舎、新たなスポーツへの挑戦によって、英語力を伸ばすということだけでなく、貴重な体験をすることができた Fay School での一年間の留学生活に期待以上の充実感を感じています。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

● クラブ

秋は油絵クラブに入りました。春は他の日本人の生徒と一緒に、Fay School で多くの生徒に人気の日本文化の一つであるビデオゲームを広め、楽しんでもらうためのクラブを設立、運営しました。学年や普段のスポーツチームを超えて自分と同じ趣味を見つけ、新たな友人を作る良い機会になりました。また、生徒運営のクラブも気軽に作ることができる為、コミュニティーを設立、運営するという貴重な経験をすることができました。

- 学校ボランティア

Fay School の 8 年生は **Special Olympics** と呼ばれる障害者の方々のためのスポーツ大会を支援するボランティアを行いました。活動内容は主に、大会の設営、出場者・見学者の誘導、スコアカウント、売店の運営、選手・チームの表彰です。この大会ボランティアを通じて、私を含めた生徒たちは障害者の方々との関わり方に加え、障害者の人々が参加しやすいコミュニティや社会形成を学びました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

Fay Schoolの授業は日本の授業と大きく異なり、基本的に7~15人の少人数制で行われます。そして大半の授業が集団アクティブラーニング形式で行われます。加えて、普段の小テストが多く、すべての小テストを合算すると期末テストよりも成績の評価割合が高くなります。また、教科ごとのプロジェクトの数がとても多く、同時に3つや4つのプロジェクトの制作期間が重なることがあります。その為、各プロジェクトへの時間配分や普段の勉強時間の取り方がより一層大事になります。Fay Schoolのプロジェクトはテストよりも評価割合が高いことがあり、とても大事な成績評価基準の一つになっています。尚、期末テストは基本学年末に一度、一年に学習したことすべてをテスト範囲にして行われます。

- English (Literature & Composition/Inquiry & Analysis)

今回、私はELP(English Learning Program)の生徒だったので、Lit & CompとInq & Analysisの授業を受けました。この二つのクラスでは一年を通して4冊の本を読み、さらにLift Bookと呼ばれる教材を使って英文法や英単語も学びました。冬学期にはScull essayやスピーチを書くことにも挑戦します。私はFay Schoolの英語の授業を通して、読解力と対話力が共に成長しました。

- Algebra1 advanced(Math)

Fay Schoolの数学は、生徒のレベルによって10のクラスに分かれ、それぞれのクラスが少人数の生徒で構成されています。これにより、先生が生徒ひとりひとりにフォーカスを当てることができ、手厚い教育を受けることができます。また、授業の形態自体が、生徒に問題解決力を付けさせることを重要視していることも特徴です。生徒達は、問題を解いてきた後に2~3人のグループに分かれ、問題の解き方についてディスカッションを行います。その後、クラスとグループで出た意見を発信します。これにより、生徒は自ずと意見を言うようになり、問題解決力に加えてその発信力も鍛えることができます。

- American History

American Historyの授業では文字通りアメリカの歴史について学びます。しかし重要なのは、アメリカの歴史をアメリカ視点のみで学ぶのではなく、他国の視点（俯瞰的な視点）からも学ぶことです。宿題には知識を吸収するためだけではなく、一つの歴史的な事件を多方向から考察する問題など、論理的思考力を養うような課題が出されます。

- Creator Class

Creator classでは世の中に広がる国際的な問題、環境変動や障害者支援などの問題にフォーカスを当てて、生徒自らがデザイン思考を用いて問題解決力を育てていきます。Fay Schoolにはデザイン思考を取り入れた問題解決プロセスがあり、そのプロセスに則ってプロジェクトを進めていくことで、生徒は他の生徒と協力して問題解決をします。具体的に、私は今年のCreator classの授業で3人の生徒チームで障害者の方のための液体プラスチックとエアーポンプを使用した、人工筋肉ロボット『Soft Robot』の制作を行いました。

● Innovation and Design

私は、この教科をFall termに副教科の一つとして選択しました。このクラスでは、基本的にCreator Classと同じように問題解決を促すプロジェクトを主体に進行していきますが、より制作技術に目を向けています。取り扱う問題は世の中の時事問題のようにスケールの大きな問題ではなく、『50cm先の球体を手を使わずに取る』といった小さな問題を解決しようと模索します。加えて、問題解決をする際のプロトタイプにはCreator classよりも高度な技術のモーターなどを使用したりします。

● Physical Science8

この授業では、基本的に8年生の科学範囲を履修します。日本の授業と違う点は、授業内にプログラミングを習うということです。Fay Schoolでは、生徒に将来的には科学分野の実験データの処理や分析をプログラミングで行ってもらいたいと考えています。その為、科学の授業でJava Processingと呼ばれるプログラミング言語を学びます。宿題は知識系の宿題が出ることもあれば、グループプロジェクトでポスターやプレゼンテーションを作る宿題が課されることもあります。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

私は今回の派遣留学が自分自身の英語力を向上させるだけでなく、Fay Schoolの集団アクティブラーニング教育を通して、問題解決力とそれを促すデザイン思考の形成をすることができたと感じています。加えて、多くの課題やプロジェクトを寮のライフスケジュールに従いながら対応して行くことで、自身の生活時間をコントロールできるようになったと感じています。Fay Schoolでは、パソコンなどのテクノロジーが使える時間も決められており、日中にしっかりと計画を立てて、パソコンが必要な課題を進めないと宿題が間に合わなくなってしまう。また、家族以外の人であるルームメイトと共同生活をする中で、人との接し方についてさらに理解が深まったと感じています。最初の頃は、私の英語も拙かったので稀にお互いの想いが伝わらないこともありましたが、しかし、ルームメイトが根気よく私との英会話に付き合ってくれたことで、私も英語力を向上させることができました。ルームメイトには感謝してもしきれません。

今後の派遣留学生へのアドバイス

私の場合、ELP コースを受けることが分かっていたので、American History の予習は一通り夏休みに行いました。勉強方法は、YouTube でアメリカの歴史について解説している動画を視聴し、『Big Fat Notebook U.S. History』というアメリカの Middle School 用の Study Guide を読んで予習しました。基本的に、どの教科も日本の授業よりも難しいということはない為、あまり心配しなくて大丈夫です。

あとはアメリカで一年間留学生活をするための覚悟と、楽しむための気持ちがあれば大丈夫です。初めは寮生活や学校生活に緊張するかもしれませんが、Fay School はとても温かくて、優しい Community なので心配せずとも卒業する頃には多くの多様な友達ができていると思います。

